

■コメント

1. インフルエンザ

定点当り1.84人と減少していますが、第39週は連休中の医療機関の休診の影響も考えられます。

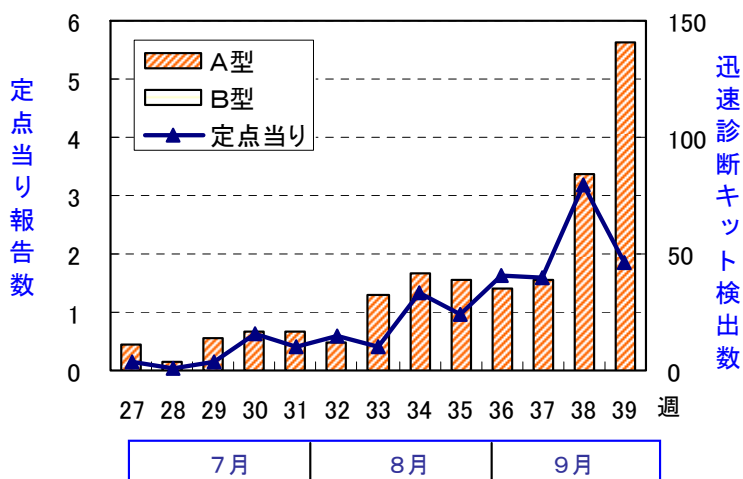
この期間も診療を行っていた基幹病院(2か所)による迅速診断キット検査結果では、検出数は逆に増加しています。

年齢別では、第39週に報告された68人のうち、5～9歳、10～14歳がともに22人(32%)と、この年齢層が高い割合を占めています。

また、新型インフルエンザによるとみられる休校・学年及び学級閉鎖等が夏休み後多くなっており、第39週は12件報告されています。

第39週は連休中のため、医療機関の休診の影響で、全般に報告数は実際の患者数よりも少ない可能性があります。

インフルエンザ定点当り報告数と
迅速診断キット検出状況(基幹病院2か所)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	68	1.84	-	↗	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.30	↓
咽頭結膜熱	2	0.08	0.18		流行性耳下腺炎	18	0.75	0.69	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.21	0.99	↓	RSウイルス感染症	5	0.21	0.03	
感染性胃腸炎	51	2.13	4.07	↗	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	12	0.50	0.70		流行性角結膜炎	15	1.88	1.38	↗
手足口病	3	0.13	0.28		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	1	0.04	0.16		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.23	
突発性発しん	16	0.67	0.76		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.40	
百日咳	7	0.29	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

報告はありません。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	広島市	第35週	35	6	12	73	9	13	2	17	2	69	22	-	-	2	1	-	2
		第36週	60	3	6	86	12	10	5	18	10	58	25	-	-	13	-	1	-
		第37週	59	5	11	89	10	19	-	19	10	38	22	-	2	18	-	3	-
		第38週	118	4	15	70	10	7	-	12	3	17	25	6	1	15	-	4	-
		第39週	68	2	5	51	12	3	1	16	7	4	18	5	-	15	-	2	-
定点当 り	広島市	第35週	0.95	0.25	0.50	3.04	0.38	0.54	0.08	0.71	0.08	2.88	0.92	-	-	0.25	0.14	-	0.29
		第36週	1.62	0.13	0.25	3.58	0.50	0.42	0.21	0.75	0.42	2.42	1.04	-	-	1.63	-	0.14	-
		第37週	1.59	0.21	0.46	3.71	0.42	0.79	-	0.79	0.42	1.58	0.92	-	0.25	2.25	-	0.43	-
		第38週	3.19	0.17	0.63	2.92	0.42	0.29	-	0.50	0.13	0.71	1.04	0.25	0.13	1.88	-	0.57	-
		第39週	1.84	0.08	0.21	2.13	0.50	0.13	0.04	0.67	0.29	0.17	0.75	0.21	-	1.88	-	0.14	0.29
全国		第37週	3.21	0.14	0.61	2.66	0.46	0.89	0.08	0.64	0.03	1.04	0.69	0.15	0.01	0.53	0.02	0.04	0.35
		第38週	4.95	0.11	0.69	2.53	0.40	0.74	0.07	0.58	0.02	0.71	0.69	0.16	0.03	0.50	0.02	0.02	0.35

■ 新たに判明した病原体検出状況 (新型インフルエンザの検査結果は下表のとおり)

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	1	男	2009/07/20	咽頭拭い液	ライノウイルス
咽頭結膜熱	0	女	2009/07/20	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/07/17	咽頭拭い液	エコーウイルス9型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/07/23	糞便	エコーウイルス9型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/07/23	糞便	エコーウイルス9型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/07/19	糞便 鼻汁(拭い液)	コクサッキーウイルスA9型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■ 広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

第39週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	1	3	1						5
クラスターサーベイランス									0
入院サーベイランス									0
合 計	1	3	1	0	0	0	0	0	5

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	13	28	6	1				1	49
クラスターサーベイランス	4	4	3						11
入院サーベイランス	1	2		1					4
合 計	18	34	9	2	0	0	0	1	64

- ・すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- ・病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- ・クラスターサーベイランスは、新型インフルエンザの集団発生を早期に把握する目的で、その集団内の患者の検体を検査するものです。
- ・入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- ・病原体サーベイランスやクラスターサーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第39週(9月21日～9月27日)